

ちょっと気になる法律コラム 「試行的面会交流」

弁護士 田中 勇輝

離婚調停、面会交流調停などの最中に、試行的面会交流というものが行われることがあります。

試行的面会交流というのは、離婚後や離婚調停中に面会交流をしていく前に、まずは家庭裁判所で、試しに面会をしてみて、その状況を踏まえて、面会交流のあり方を考えていくために行われます。

場所は、概ね、家庭裁判所の調査室というところで行われますが、いわゆるプレイルームのようになっており、子どもの遊び道具などが置かれた部屋です。そして、プレイルームの一部の壁がマジックミラーになっており、プレイルーム側からは鏡になっていますが、奥の部屋からはプレイルームの様子が見られるようになっています。

基本的な流れとしては、まず、監護親（子どもを監護している親）と家庭裁判所調査官が子どもと一緒にプレイルームに入り、子どもに遊んでもらいます。子どもが慣れたところで、監護親が部屋を出て、代わりに非監護親が入ってきて面会をするという流れが多いです。調査官は終始子どもと一緒にいることが多いです。そして、非監護親と子どもとの面会の様子を監護親やその代理人が見ることができるとい仕組みになっています。

もっとも、子どもの年齢や状況によっては、監護親が部屋から出ると不安で泣いてしまうなどということもままありますので、子

どもの状況に応じて流れも変化します。監護親も一緒に部屋にいる状態で、非監護親との面会をする場合もあります。

そのような仕組みで試行的に面会をしてみて、その様子を、調査官が調査報告書というものにまとめ、調停でも資料として残ります。その報告書の内容に従って、今後の面会をいかに進めるかの話し合いを進めていくこととなります。試行的面会交流は、非監護親にとっては、久しぶりに子どもと会える機会ですので、それだけでも十分に意味のあるものですが、今後の面会交流の話し合いをしていく際には、この調査報告書の内容が重要になってくるというわけです。

子どもの年齢によっては、久しぶりに会う非監護親に懐かない、怖がって泣いてしまうということもままありますが、それ自体は良くあることなので、それほど気にすることはありません。そういう子どもを泣き止まそうと頑張ってみることで、父子関係を構築しようとしていると評価してもらえることもあるでしょう。一概に、こういう点が評価されるなどということではできませんし、子どもと会いたいと思い、子どもと良い関係を築きたいと思っていれば、それを行動にすれば良いのだと考えて、子どもと久しぶりに会える時間を精一杯楽しむという姿勢が良いと思います。

KOBE STATION

神戸駅周辺
グルメリポート

天ぶら食堂

天ぶら食堂

- 住所 / 中央区中町通3-1-5
JR神戸駅西徒歩5分
- 営業時間 / 11時～15時
17時～21時30分
- 定休日 / 日曜日



今回は、4月に新規オープンした天ぶら専門店「天ぶら食堂」さんをご紹介します。うちの事務所の三共神戸ツインビルから西に2分ほど歩いた所で、JR神戸駅からでも徒歩5分ほどの場所にあります。

メニューは天ぶら定食・天ざる定食・天丼など天ぶら専門店ならではのメニューで、天ぶら定食は山・空・

月と天ぶらのグレードによって、3種類が用意されています。

平日のランチは近隣のサラリーマンやOLさん、家族連れなど幅広いお客さんでにぎわっています。よろしければ、皆さんも天ぶら食堂を訪れてみてください。

(事務局 A. T)



リーガルドクター の ごあんない

法律事務所絆ではリーガルドクターという制度を設けていて、ご好評いただいています。当事務所では、離婚事件の中でも調停や裁判ではなく、離婚については合意しているので、離婚協議書の作成だけを引き受けることもあります。離婚協議書の作成だけお願いしたいなどのご希望があれば、ご相談ください。

顧問料 年間52,500円(税込)

<夏期休業のお知らせ>

令和元年8月13日(火)・14日(水)は夏期休業のため休ませていただきます。

<土曜日>

交通事故・離婚無料相談実施中

三井神戸ツインビル11階



[編集後記]

実は元号は「安久」になるのではないかと予想していました。頭文字のローマ字がM・T・S・H以外になると思いましたが、令和のRとは。斜め上に行く命名でした！

(事務局 A. T)